

活動名：小野町さいとう医院杯フットサル大会 U12

日 程：令和5年2月11日（土）～12日（日）

会 場：小野町民体育館

参 加：T6・L100（5・4年生） 6名

結 果：5位（8チーム中）

帯 同：小松、大森

報 告：小松

この大会は小野町スポーツ少年団代表が3年ぶりに小野町の地域振興とサッカー🏀フットサルの発展のために齋藤医院様のご協力を得て開催されたフットサルの大会であります。参加チームは主に近隣の平田や常葉そして私達の郡山など日々交流して切磋琢磨しているチームです。

コロナ禍でも国の方針に乗っ取ってこのタイミングでの開催、本当にありがたく感じています。

私達アーレに取ってこの時期の大会参加は、主に6年生に主軸をおき卒団にむけて今まで頑張ってきた練習の成果を出してもらいアーレ特有の仲の良さを下の世代へ引き継ぎ、よりアーレらしい選手になって新しい学年へあがるための準備のタイミングです。自分自身の頑張りにはより一層のこだわりが出てくる取り組み方を願うばかりです。

初日

試合への硬さから相手チームに数字以上に圧倒され過ぎてしまいました。

こちら相手陣地に何度となく入りそれこそ同じくらいゴール前に迫ってはいますが…

シュートを打たないのか打てないのか？

そもそもシュートする気持ちがないのか？

勝ちたい気持ちが薄いのか…？

ゴール前まで迫っているので何となく勝ちたいは、感じますがやはり失礼ながら何となくと言わざるをえません。

いい意味で優し過ぎる選手達ですね。

挨拶も2度、3度とお腹から声を出してとお願いしましたが…。

人には、成長するスピードやタイミングがあります。それには気付きがあってこそ。

これからも沢山のことに気付きがあれば指導者として嬉しく思います。

結果的に圧倒はされた2試合でしたがここでシュートを打って何かが起こる起こす。

起きた起こしたと仮定すればそれこそ私にとっては、互角の手ごたえの戦いが出来たと断言出来ます。例え勝負では負けたとしても…フットサルと言うテクニカルな部分では手ごたえ充分戦えた。

少なくともこのような精神的にもキツイ大差までにならないと…。

最終戦らしさと言う部分では時間を追うごとにらしさが顔を出し戦いの末に勝利をもぎ取ることが出来ました。

徐々にシュートで終わることシュートまでいくことを実践して。

ただこの試合も優しさが顔を出しゼロで終わることが難しく 1 点を献上してしまいました。

勝ちには勝ったのでくどくどとは、言いませんでしたが現代サッカーでは勝ち点と言う得点がついてまわります。これがのちに精神的にも重くのしかかります。

向き合うべき点ですね。

また最終戦の後半ある選手の出番を見出す事がどうしても出来なくなってしまいました。

これは 2 日間通して私自身の不徳の致すところです。期待値は高い選手です。

どうしても私にとっては、消極的に見えてしまうプレーがあり期待値故に跳ね返して欲しいと願うばかりです。

願わくは流れに沿う選手ではなく流れをつくる選手になって欲しいと思っています。

1 人の時間を取り自分と向き合おうと無理していましたが選手全員で迎えに行ってもらいました。素晴らしい仲間に出会える事も選手としては大切なことです。

お母様からは素晴らしい時間であったこととお言葉頂きました。

2 日目

リーグとしては、下部リーグにまわりましたが前日の最終戦らしい試合をして締めくくったイメージそのままに戦ってくれました。

このイメージを体現すれば自ずと結果も付いてきました。

まだまだシュートの数は納得とは言えませんが脚を動かした個人戦術で戦ってくれました。

あるディフェンシブな選手は、前日からポジション的にカットするには、いい場面いいポジションなのですが…そこに意思がなくボールを当ててすぐ相手ボール、もしくはすぐ蹴り返して相手ボール。

読みイコール自分の意思を持ってプレーしてみてものヒントを伝えたところ。

試合を読んで意思を持てば相手選手足元にボールが入れば自分はこのカットでこう止めて。このカットからここに持ち上げればスルーバス 1 発。このバスカットは真ん中空いたから入って行ってシュートまで。

それはそれはクレーバーなプレーをたくさん披露してくれました。

その感覚を大切に自分のこれからは活かして試合を動かして自分のものにして欲しいです。

ある選手は最初からやってやる！の気持ちそのままに私に直訴までしてくれて有言実行をしてくれました。果敢に挑む姿勢は素晴らしい指導者に恵まれて欲しいと願いその先をたくさん感じました。

また恵まれた体格から時にディフェンスに入ってもらったりとオフェンスもかなりの頻度でボールに絡み浅野選手のような走りからシュートの場面もシュートまでいけませんでした。自分の課題をかなり自覚していました。

何事にも目をみて声でキチンと返してくれる選手です。先が楽しみです。

試合に関しては自分達で試合ごとのキーパーを決めてもらいました。
キーパーの選手本当にありがとうございました。ただ逆にキーパーの枠だけに収まるようなプレーにならないようにも伝えました。
果敢な挑みもあり嬉しかったです。
これもアーらしさと自負しています。

ご家族がコロナとなり懸命なご判断から今回辞退した選手もいました。
私達は、この相手を思えばこそその日本人的気質のうえにたくさんの事が成り立っています。ここに敬意を表します。

また懇親会でも各チームたくさんの指導者のお話を伺うことが出来ました。
小野町の地域振興と言う観点からも文化にしていければ素晴らしい大会だと感じました。

大会運営小野町スポーツ少年団スタッフの皆様、本当にありがとうございました。
夜までのご参加ご苦労様でした。

また今回は私小松と大森で帯同となりました。すべては、私、小松の采配で動かしました。不満のひとつも言わず本当に思う戦いとなりました。送迎も含めて本当にお世話になりました。ありがとうございました。

下の世代が主な活動の場となって居ましたが、またたくさんの勉強が出来ました。
保護者の皆様ありがとうございました。
前日の雪もあり参加が遅れる選手が出るかなといらぬ心配でした。
今年は、まだ20周年事業謝恩会などイベントが控えております。
今後ともクラブにご理解とご支援を宜しくお願い致します。

コーチ 小松



